

2015年国連軍縮週間（10/24-30）

なくそう核兵器！戦争法は廃止を！

核兵器禁止は

国際政治の焦点

10月24日から30日は国連軍縮週間です。いま世界では、被爆70年の今年を大きな「転機」としてとらえ、核兵器のない世界に踏み出そうとする機運がかつてなく高まっています。



核兵器廃絶のために行動する政府は国連加盟国の8割に達し、核兵器に悪の烙印を押し、禁止・廃絶へ、法的枠組みを求める「人道の誓約」への賛同も半年たらずで6割の116か国へと増え続けています。この流れを受け、軍縮・国際安全保障問題を議論する国連総会第1委員会では核兵器の非人道性を告発し、全面廃絶や禁止条約の交渉開始を求める新たな決議案が相次いで提出されます。

核兵器禁止条約が国際政治の大きな焦点になっているのです。私たちは核兵器禁止条約の交渉開始を求める国際署名「核兵器全面禁止のアピール」署名にとりこんでいます。あなたの署名が国連の議論の後押しになります。

被爆者の声を聞こう

「核兵器のない世界」の実現のためには、日本政府に、アメリカの「核の傘」、核抑止力に依存する政策を改めさせ、核兵器廃絶の政策に転換させることがどうしても必要です。安倍自公政権のもと、日米新ガイドラインによる「核の傘」の提供と戦争法の施行となれば、核兵器使用の危険を高め、世界の平和を脅かすだけです。絶対に止めなければなりません。

「ふたたび戦争するな！」「ヒロシマ、ナガサキをくり返すな！」「という被爆者のみなさんの声は、戦争と核兵器に反対し、個人の尊厳を守る大きな力です。被爆体験を聞く、原爆展を開くなど、核兵器の非人道性を多くの人に伝えましょう。

国連 軍縮週間

1978年5月、国連は初めて軍縮特別総会を開きました。総会は核兵器廃絶と、全面核軍縮をめざすことを決めました。その中で、「永遠の安全と平和は兵器をため込んでつくることはできないし、核兵器のバランスなどで保つことはできない」と明言。国連創立記念日の10月24日から1週間で「軍縮週間」と決めました。日本国内をはじめ、世界各地で軍縮の運動が繰り広げられています。

国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会（日本原水協）

TEL:03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>